

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立韮崎射撃場	所管課	スポーツ健康課
所在地	韮崎市清哲町青木175-2	設置年月日 (改築年月日等)	昭和41年6月
管理方式	指定管理者(山梨県クレ射撃協会・平成21年4月1日～平成21年7月30日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立射撃場設置及び管理条例		
設置目的	クレ射撃競技の振興と競技力向上を図るため、県民に射撃の場を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	クレ射場(トラップ1面、スキート2面) ライフル射場(ランニングボア1面) 管理棟等(事務室、会議室、研修室、選手控室、銃保管庫 他) 駐車場(80台)		
主な業務内容	○利用の承認に関する業務 ○施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○その他教育委員会が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	山梨県立八代射撃場 下部射撃場 大月国際クレ射撃場 都留市鹿留射撃場 富士五湖ライフル・クレ射撃倶楽部射撃場
-------------------	--------------------------------------------------------------------

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	トラップ	2,282	2,543	1,174	
	スキート	2,105	2,249	1,108	
	ライフル	464	450	81	
	利用者数合計	4,851	5,242	2,363	
	目標値	5,000	5,000	1,700	
	目標値設定の考え方	H17,18年度の利用者数を基準とし、初心者を対象とした実技講習会を開催するなど利用者サービスの向上を図ることにより、前年度並み利用者数を目標とする。	H18,19年度の利用者数を基準とし、初心者を対象とした実技講習会を開催するなど利用者サービスの向上を図ることにより、前年度並み利用者数を目標とする。	H19,20年度の7月までの利用者数を基準とし、初心者を対象とした実技講習会を開催するなど利用者サービスの向上を図ることにより、前年度並み利用者数を目標とする。	
	対19年度比	100.0%	108.1%	48.7%	

## 4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	3,633,150	1,485,000	1,472,740	
	指定管理者委託料	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	収入合計(A)	3,633,150	1,485,000	1,472,740	
支出	人件費	2,473,597	850,000	850,000	
	県への納付金		0	0	
	管理運営費	2,624,906	635,000	584,704	
	(うち外部委託費)(B)	391,846	45,000	2,298	
	支出合計(C)	5,098,503	1,485,000	1,434,704	
収支差額(A-C)		-1,465,353	0	38,036	
外部委託比率(B÷C)		7.7%	3.0%	0.2%	
利用者一人当りの経費		280	0	0	

## 5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月~21年7月、実施方法:来場者へのアンケート、回答数:50人
-------	--------------------------------------------

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①利用日、利用時間	10.0%	40.0%	40.0%	10.0%
②利用料金	60.0%	36.0%	0.0%	4.0%
③申し込み方法	0.0%	90.0%	0.0%	10.0%
④設備・備品の状況	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
⑤催物・事業内容	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
⑥職員の接客態度	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
各項目の平均	11.7%	77.7%	6.7%	4.0%

利用者の意見	休場等が多すぎる。
利用者の意見への対応	再開された際には営業日の見直しの検討をする。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	適正に実施できた。	事業計画書どおり実施されている。
運營業務	適正に実施できた。	事業計画書どおり実施されている。
自主事業	適正に実施できた。	事業計画書どおり実施されている。
利用状況	利用者数は、平成21年度計画を上回る(131%)結果となった。これは、4月～7月末日の営業で各大会の前倒しの開催となった結果と考えられる。	指定管理者の広報等の結果、利用者数の増につながったと考えられる。
収支状況	適正に実施できた。	経費削減が図られており、経営努力の成果がうかがえる。
利用者満足度	適正に実施できた。	事業計画書どおり実施されている。
運営目標の達成状況	運営目標2項目ともに概ね目標を達成した。 ①利用者数:目標1,700人 実績2,362人 ②大会数:目標 15 実績 16	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	平均の満足度は12%やや低いが、アンケートのほとんどが「普通・どちらでもない」という意見が多くこれが影響したためである。施設維持業務、運營業務ともに事業計画書どおり業務が行われている。支出については、設備管理及び外構植栽管理などを自前でおこなったことにより費用を抑えた。収入は事業計画には達しなかったが、事業計画書通りとなった。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	現状を踏まえて、再開された際には協定及び事業計画書提等に基づき適正に対応していくこととする。	

7. 管理体制(組織図)

